

第1回講座資料

第2期「田辺市地域コーディネーター養成講座」(平成21年度)

第1回講座

地域づくりと生涯学習力

～地域コーディネーターに求められる資質～

平成21年9月6日(日曜日) 13時30分～

田辺市民総合センター 4階 交流ホール

主催 田辺市教育委員会

講師 和歌山大学 理事・副学長

生涯学習教育研究センター長 堀内秀雄

『人が輝けば！地域も輝く！！』

～地域づくりに^{ろまん}浪漫を求めて～

1. 目的

各地域において、公民館と連携して地域づくりを支える人材の育成を目指し、地域課題解決への手がかりや、地域資源を活用した地域づくり活動の進め方などを学ぶ連続講座を開設します。

2. 主催 田辺市教育委員会

3. 協力 和歌山大学

4. 開催日時 平成21年9月6日(日曜日) 13:30～16:30

5. 会場 田辺市民総合センター 4階 交流ホール

6. 日程

(1) 開会挨拶 田辺市教育委員会 教育長 中村 久仁生

(2) 事業説明 田辺市教育委員会 生涯学習課

(3) 講義

「地域づくりと生涯学習力」

～地域コーディネーターに求められる資質～

講師 和歌山大学 理事・副学長

生涯学習教育研究センター長 堀内秀雄 教授

(4) グループ討議

ワークショップについて学ぼう

・進め方について

・ファシリテーターの役割について

自己紹介

テーマについて話し合おう

～講義を聞いて心に残ったキーワードを話し合おう～

・地域づくりについて

・人づくりについて

(5) 閉会

0 共有・共考・共感・共動したいこと

- 1 地域・地域づくりの本質を理解する
- 2 社会教育・生涯学習の魅力を確認する
- 3 地域コーディネーターの必要性和その資質を考察する

1 地域・地域づくりとは何か

- 1 衆議院選挙に反映した地域の風景（地域衰退の原因と再生への選択）
- 2 地域 歴史性・近隣性・文化性・共同性
- 3 地域づくりの類型 ハード・ソフト・「ハート」
- 4 地域づくりの本質 住民主体、安全・安心、人間らしい生活文化、次世代へ継承

2 社会教育の魅力と「生涯学習力」

- 1 社会教育 地域・社会を良くするための問題解決学習と人づくり
- 2 その構図 自分づくり 仲間づくり 地域づくりの関係性
- 3 回路と方法 共同学習と協働実践、「学習・秘められた宝」
- 4 「生涯学習力」 学習権宣言、自治を築く学び、生命・生活・人格・人生の豊かさ

3 地域コーディネーターに求められるもの

- 1 協働型社会の人材像 市民的能力、企画実践力、協働力、プロデュース力
- 2 地域コーディネーターは、地域共生プロデューサー。マルチパートナー。地域主権者。
- 3 求められる資質 地域知識人、資源と人材ネット、人づくり人、住民主体の実践者
- 4 視座をぶれない 貧困・格差に苦しむ住民の立場に立つ、生産・生活・文化の再生、

4 地域づくり実践からまなぶ

- 1 田辺市長期総合計画、田辺市生涯学習推進計画は進んでいるか。
- 2 住民主体の地域づくり 秋津野がルテン、本宮・内野さん、共育楽舎、ハートツリー

5 自己紹介とワークショップの課題

0 わたしのひすとリー&えびそード

ほりうちひでお

1950（昭和25）年3月 大阪に生まれる

母が2歳半で死去、おばあちゃん子、近所っ子
商家の子として育つ

大学まで

幼稚園中退

小学校1年 1956（昭和31）年 大矢ちよ先生、順子ちゃんの給食事件、赤胴鈴之助の歌で褒められ初体験

4年 代用教員の先生の生活にショック、安保反対の学芸会

6年 「世界で一番社会保障が進んでいる国」スウェーデンの衝撃

中学校1年 1962（昭和37）年 柔道部、新聞部（ガリ版切りの日々）

2年 河野先生の影響で大学ノートに1ページ詩日記を書く、有島武郎「小さき者へ」

3年 高校へ行きたくないと親・教師ともめる、菊池寛「父帰る」の演劇に

高校入試日 春の大雪で試験が半日延び午後からとなる

1年 1965（昭和40）年 14組まであった、ハンドボール部同好会結成、（3年間学級委員）

2年 世界史の先生から雑誌『世界』『展望』を読むことを勧められる、社研部と口論

3年 交換日記、体育大会日程変更事件、生徒会議長、部に昇格

大学1年 1968（昭和43）年～ 大阪外国語大学へ、憧れの下宿、自治会役員、東大事件、カリキュラム闘争

2年 自治会委員長、封鎖解除事件

3年 国際政治学者・岡倉古志郎先生と出会う、フランス現代史のゼミへ

4年 体調崩し九州へ転地療養

（大阪市立大学法学部政治学専攻に学士入学、地方自治論、自治体政策論）

学校・自治体の仕事（約25年）

1973（昭和48）年 中学校勤務（翌年6月まで）、生徒のバイク死、補修事件

1974年7月 大阪府岸和田市職員（上級行政職）に採用 教育委員会社会教育部成人教育課に配属

以後 岸和田市教育委員会 社会教育主事（社会教育の天皇事件）

岸和田市企画部 総合計画室に配属（総合計画策定及び進行管理等）

岸和田市企画 企画課に配属（総合計画進行管理、コミュニティ政策立案実施、市制60周年記念事業等）

岸和田市教育委員会指導部 文化振興課（マドカホール）に配属（文化事業の企画立案、文化団体育成等）

岸和田市市長公室 自治振興課に配属（町会自治会、コミュニティ、平和事業、女性政策、消費者政策等）

1989（平成1）年4月 岸和田市市長公室自治振興課自治振興係長

1991年4月 岸和田市福祉部障害福祉課障害福祉係長（ホーム&ガイドヘルパー養成、福祉のまちづくり要綱制定等）

1995年4月 岸和田市保健福祉部高齢者福祉課 主幹（老人保健福祉計画振興管理、高齢者サービス調整チーム総括等）

10月 大阪府市町村職員海外派遣共同研修（20名）に団長職で参加、アメリカ15日間調査研究（ニューヨーク等）

1996年4月 岸和田市企画部都市政策調査室 主幹（都市政策研究会事務局、職員プロジェクト育成、研究所設立等）

1997年4月 岸和田市企画調整部 改革推進室室長補佐（行財政改革、地方分権、組織機構、定員管理、情報公開等）

大学人として

1998（平成10）年10月 和歌山大学生涯学習教育研究センター助教授

2006年10月 和歌山大学生涯学習教育研究センター教授

2008年4月 和歌山大学生涯学習教育研究センター長（現在も継続）

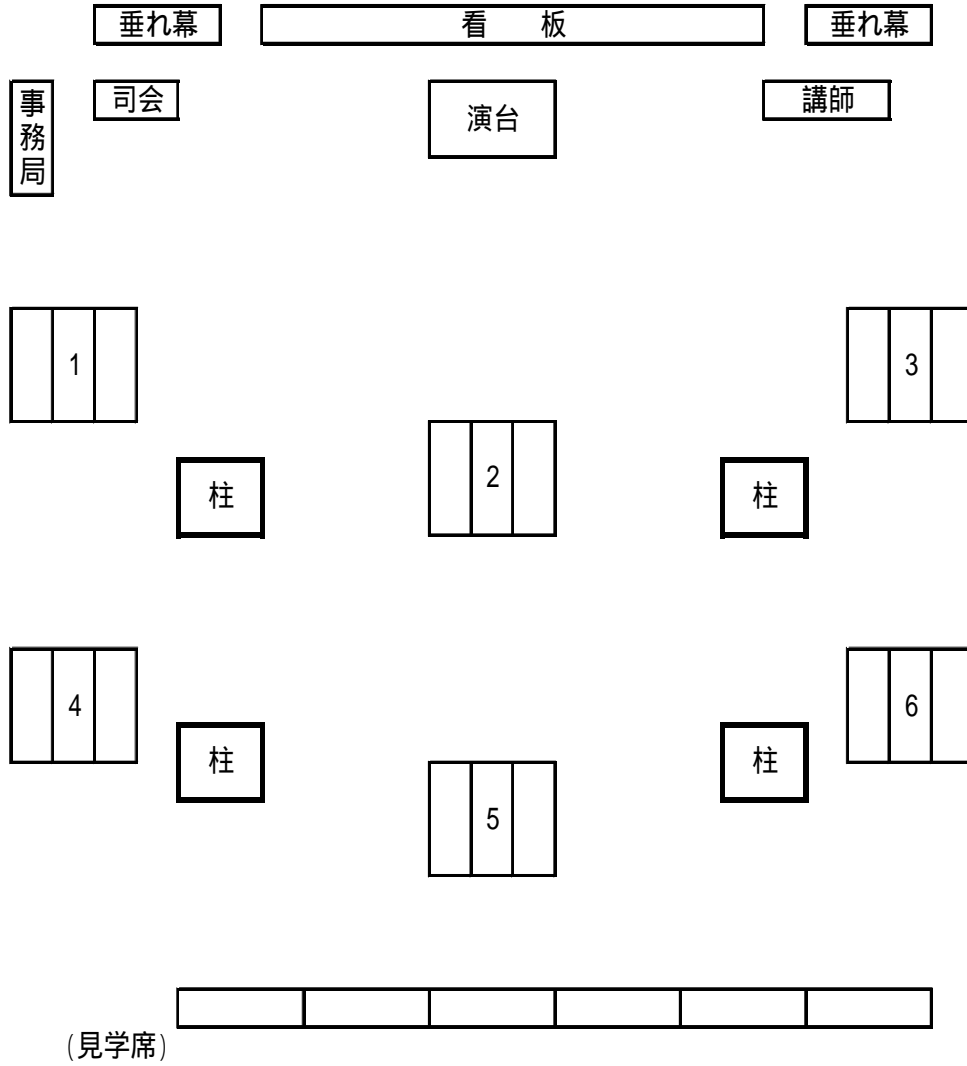
2009年4月 和歌山大学評議員（現在）

5月 和歌山大学副学長（現在）

人間とは何か。どこから生まれ、いかに育ち・生き、どう死んでいくか。教育は何ができるのか？
ゼミの選抜は、ゼミ担当教員の選抜である。教育学教室は、全体がひとつのゼミ宇宙だ！

第1回講座 座席表

平成21年9月6日(日) 13:30 ~
市民総合センター 4階 交流ホール



グループ討議（ワークショップ）のすすめ方【全体 95 分間】

1. ワークショップとは（5分）
 - ・進め方について
 - ・ファシリテーターの役割について
 2. 自己紹介（10分）

グループ毎に、自己紹介を行う
 3. 役割決定（5分）

グループ内で、チーフ（1名）、サブチーフ（2名）、本日の発表者（1名）、記録者（1名）を決める。
 4. テーマについて話し合う（40分）

各グループの進行は、チーフが行う。
堀内先生の講義を聞いて、心に残ったキーワードを各テーマ1枚ずつ付箋紙に書く・・・1枚に1項目。
・書いたことをグループ内で発表しながら、模造紙に貼る。
・グループ内で話し合いながら、同じような意見を集め（重ね）、グループのまとめとし、2項目に絞り込み模造紙にまとめる。
- 【テーマ】
- 地域づくりについて
 - 人づくりについて
5. 全体発表（20分）

グループ毎に、3分間で発表を行う。
グループ全員の意見を発表するのではなく、類似した意見はグルーピングし、各テーマごとに2点にまとめて、簡潔に報告する。
 6. まとめ（15分）

全グループの発表終了後、堀内教授がまとめを行う。